全教・都教組 杉並支部ニュース

東京都教職員組合
杉並支部情宣部
２０２３年
１月１０日
８　号
Tel 3399-8719
Fax 3399-3855
支部ホームページ
http://tokyusosuginami.web.fc2.com

「新春の富士」 静岡市清水区由井 さった峠ライブカメラから　1月1日　7時04分

憲法を守り、平和な未来を子どもたちに！
教職員の生活と権利を守るために
今年も皆さんと力を合わせて進みます！

杉並の教職員のみなさん 新年あけまして おめでとうございます

二〇二三年の新春を迎えました。しかし、穏やかな年明けにもかかわらず、新型コロナウィルスの第８波感染の広がりに、依然として気の許せない学期始めとなっています。

子ども達も私達教職員も、健康で、充実した学校生活と教育活動が送れるよう願っています。

都教組杉並支部執行委員長代行　松永　晃

私達は一人ではない つながり合い助け合う 組合がある

昨年、私達都教組杉並支部は

○賃金や待遇の改善を求めて、全都の仲間とともに取り組み、職場からは２３０筆の賛同署名が寄せられました。３年ぶりの一時金（ボーナス）引き上げ、若年層の給料引き上げが実現しました。また、退職金見直しは提案させませんでした。

○職場アンケートをもとに、杉並区教育委員会に予算要求を提出し、直に声を届けました。この中では、「教職員不足」の問題や長時間労働解消・勤務時間の問題も提起し、区教委は「休憩時間内の会議などはあり得ない」と回答しました。

○人事異動に関しては、異動情勢や制度、心配なことについて相談に乗ってきました。「職場の組合の人に相談すれば何とかなるかもしれない」と組合員に相談したことから解決につながった例もありました。

○職場の労働条件、健康の問題などで困っていることがありましたらご遠慮なくご相談ください。杉並支部は都教組本部とも連絡を取り合ったり、区教委に問い合せ・要請をしたりして解決に努めています。ご一緒に解決していきましょう。

○都教組は、教育研究集会、実践講座などにも力を入れています。

岸本区長と面会し、懇談

昨年12月5日、都教組杉並支部は、職員団体の立場から杉並区の発展に寄与するため、多忙を極める岸本聡子新区長と面会し懇談しました。

懇談は、職場からパワハラをなくすことや教員不足、障害児教育の充実の課題などに及び、予定は30分でしたが45分も時間をとっていただきました。

区長は終始メモを取りながら、現場の実態や要望に真剣に耳を傾けていました。

新しい「戦前」にさせない 永遠に「戦後」を

日本国憲法は「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し」て定められ、以来７６年、日本は戦争の危機を防いできました。

しかし、今、「敵基地攻撃能力」を保有し「専守防衛」を投げ捨てるような動きが強まっています。軍事予算は実は５年間で60兆円、実に世界第３位の軍事国家になると報道されています。軍拡は平和を必ず破壊します。これだけの予算を教育や福祉、国民の暮らしに向けるなら展望は大きく開けます。

「新しい戦前」になるのではないと心配する声が多くなっています。

私達は、いつか来た道に再び進むことがないよう、「戦後が永遠に」続くよう強く願い声を上げていきたいと思います。

＝異動内示は年度内＝

12・8の都議会本会議で浜教育長は「教員と児童、生徒たちが余裕を持ってお別れの機会が持てるよう、公表時期を早めるべく調整を行っている」と述べた。発表時期を春休み前にするかどうかに、都教育庁の担当者は「それも含めて調整中」（12・9東京新聞）

杉並支部ホームページは「都教組杉並FC2」検索でも開くことができます。平和のとりくみにもリンク

敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有は認められない

（昨年の）12月2日、自民党と公明党は実務者協議において「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」と言い換えた上で、まもなく閣議決定を予定しているいわゆる安保関連3文書に明記し、長射程ミサイルの開発や配備に入る方針を正式合意しました。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

日本が、仮想敵のミサイル基地およびその発射を指令する中枢機能（つまり首都）をミサイル攻撃する能力を保有することは、明白な憲法九条および国際法違反となる先制攻撃に踏み込んでしまう可能性をはらむ重大事です。また一貫して「専守防衛」の範囲内で抑制的に安全保障政策を組み立てることで、戦争を回避し戦火を決して拡大させない「平和国家」として存立するという、戦後日本の国是を根幹から破壊するものであり、断じて許されることではありません。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

私たち市民連合は、２０２０年９月に発出した「立憲野党の政策に対する市民連合の要望書 ―いのちと人間の尊厳を守る「選択肢」の提示を― 」15項目のなかで「国際社会の現実に基づき『敵基地攻撃能力』等の単なる軍備の増強に依存することのない、包括的で多角的な外交・安全保障政策を構築する。」ことを掲げ、さらには（今年）２０２２年10月にも「２０２２年臨時国会開会にあたっての市民連合要請書」にて「憲法・専守防衛を基本に防衛費のＧＤＰ比２％拡大、敵基地攻撃能力保有などに反対すること。」を明記し、立憲野党各党に要望し、政策合意を確認し、また広く市民社会にも訴えてきました。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

「敵基地攻撃能力」を保有することは、ただ単に憲法をないがしろにする暴挙というだけではありません。底なしの泥沼のような軍事費の増大によって暮らしと経済を脅かす軍拡競争を加速させる上に、結局、戦争を誘発した結果、相手側のミサイル基地を全て破壊できるはずもなく、報復的なミサイル攻撃を正当化する口実を相手側に与えます。これは日本の被害をより甚大なものとしてしまうことに他ならず、国民の生命、自由および幸福追求権を守るはずの防衛政策としてもまったく機能しません。いま必要なのは、地域的安定をめざす柔軟で強力な外交努力です。断じて、敵基地攻撃能力の保有は認められません。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

今こそふたたび市民と立憲野党の共闘によって、カルト集団との癒着の事実をごまかし、数々の不祥事を覆い隠そうと躍起になっている自公連立政権によって、平和国家日本の針路を誤ることのないよう、この歴史的な暴挙を阻止しなくてはなりません。

２０２２年12月５日
安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連

新年の行事予定

● 東京教研分科会
1月28日(土)～29日(日)
小金井市立本町小学校

● 2・5東京教育集会
2月5日(日)エデュカス東京

● 第3回しりこまゼミナール
（出産・子育て編）
2月23日(木・休)
エデュカス・オンラインでも

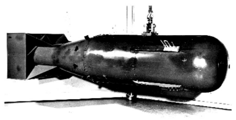
安心して教育活動に専念するために
教職員賠償責任保険
2023年1月16日より一斉募集スタート！
保険期間 2023年4月1日～2024年4月1日
★中途加入もできます(毎月15日締切・翌月1日補償開始)
仕事中の損害賠償はこれ！
小さな心配事も 訴訟前から相談OK！
詳細はパンフレット・重要事項説明書をご覧ください。
お問い合わせ先
取扱代理店：桜保険事務所
〒188-0011 西東京市田無町3-2-17
TEL042-467-4152
引受保険会社：東京海上日動火災保険(株) 22-TC06368

杉並支部恒例 新春いろはがるた

い 命こそ宝物なり NO WAR

ろ ロケットを飛ばす浪費で民苦労

は 廃棄して核戦争の憂いなし



に 日本が生まれかわった公布の日

東京都学校生協

＊住まいの個別相談＊オンライン相談も
＊安心安全・産直食品等のお届け…
TEL 03－3428－8041へ

中央労働金庫

＊普通預金＊定期預金＊住宅・教育ローン＊財形貯蓄、なんでも相談ください。
労金カードは全国コンビニ等で使えます。
中野区中野2-19-2
中野第一OSビル　電話　03-6304-8241

都教組共済へ

＊総合共済＊自転車共済　＊火災共済
TEL 042－467－4153　桜保険まで

※元のページに戻すには　画面上の　←　をクリックしてください。